

令和元年度 学校自己評価表

愛知産業大学工業高等学校
全日制課程

教務（学習指導）

重点目標	主な結果
1. 基礎学力の向上と定着 ○基礎・基本を徹底して学習させる。 ○授業を生徒が主体的（参加型）に取り組む授業を展開する。 ○成績不振者に対して保護者・生徒との面談を実施し、意識改革を促す。	○基礎学力の向上を目指し、夏期休暇および冬期休暇中に基礎学力向上講習や三者面談を実施。

【自己評価及び課題等】

- 各教科と連携し、それぞれの教科の重点項目として取り上げ、無理のない学習計画を立て、わかる所から始める授業を展開する。
- 今後も継続して英国数の3教科と専門教科（機械・電気）の向上を図る。

重点項目	主な結果
2. 資格取得の奨励 ○年間予定表を配布し、積極的な受験を促す。 ○1学年は特にオリエンテーション合宿において資格取得の目標を持たせる。	○愛知県知事顕彰は141名受賞。 ジュニアマイスターゴールド1名、シルバー6名、ブロンズ9名、特別賞1名が受賞した。

【自己評価及び課題等】

- ITパスポート・第1種電気工事士・計算技術検定1級・第一級陸上無線技術士・日本語ワープロ検定1級・工事担任者DD3種など難易度の高い資格や検定の合格者の増加を図るべく今後も指導体制を強化する。

重点項目	主な結果
3. 教員の資質向上 ○研究授業、参観授業、現職研修の実施	○研究授業4回、参観授業10回実施。 ○「ICTタブレットを使用した授業展開方法」「工業科目の実習」の研修を2回実施。

【自己評価及び課題等】

- 他教科の教員も参観し「わかる授業・きめ細かい授業」の指導方法の研究に取り組む。

重点項目	主な結果
4. 高大連携の取り組み ○夏期集中講義の参加	○愛知産業大学が実施する夏期集中講義(2単位)に18名参加した。

【自己評価及び課題等】

○高大連携の事業として、大学が実施する夏期の集中講義に、多くの生徒が参加している。今後も継続し、本校の特徴となる取り組みとしたい。

重点目標	主な結果
5. グローバル教育の推進 ○海外インターンシップを実施し、生徒の視野を広げるとともにコミュニケーション能力・工業技術の向上を図る。	○令和2年3月ベトナムクイニョン国立職業訓練校での実施に向けて計画を進めるも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

【自己評価及び課題等】

○次回は、参加者をさらに募る呼びかけをして規模の拡大をはかる。

生徒指導（生活指導）

重点目標	主な結果
1. 挨拶の励行と遅刻・欠席の防止をし、基本的な生活習慣を確立する。 ○朝の通学路指導を実施し、教員が挨拶の声かけをする。また、遅刻多重回の生徒に対して段階的な指導を実施。	○欠席指数 2.14 H30 (2.44) ○遅刻指数 1.78 H30 (2.29)

【自己評価及び課題等】

○毎朝、教員による通学路指導を実施。挨拶の声は少しずつではあるが大きくなってきた。遅刻・欠席については、年々減少傾向にあるが、気を緩めずに、きめ細かな指導を継続したい。

重点目標	主な結果
2. みだしなみ 頭髪・服装指導 ○およそ2か月に一度徹底指導	○見苦しい服装の乱れは減少傾向にあるが、引き続き、指導を徹底していく。 ○頭髪指導では最終指導に至る生徒は減少している。

【自己評価及び課題等】

○衣替え時期の服装指導の強化を図る。

重点目標	主な結果
<p>3. 登下校のマナーの向上および安全指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学年ごとに金山駅からの通学路を設定し、交通危険箇所を教員を配置。通学路の安全を確保する。 ○自転車安全安心モデル校として毎年「自転車無事故無違反200日ラリー」に挑戦し、4年連続達成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共機関の乗車マナーについての指摘の電話を頂く事があった。 ○愛知県中警察署と連携し各学期始めに交通安全指導を実施。10月広報活動実施。 ○自転車通学者の車両点検、保険加入、登録申請100%

【自己評価及び課題等】

○交通法令は浸透してきており、自宅から学校に自転車で通学する生徒の事故はない。しかし交通機関を利用する生徒の自宅周辺での事故があり、安全運転の意識啓発について保護者を含め、引き続き促す。

生徒指導（特別指導）

重点目標	主な結果
<p>1. 問題行動防止の意識向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎月1回全校放送で生活指導放送。また、毎日のSTで担任が物事の善悪の判断や先々を考えた行動の実践を呼びかける。 ○SNS等のネットマナーの徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月1回朝のST時に生活指導放送を実施し、生徒への呼びかけをするとともに、各学年主任を通じて統一した指導項目をST時に実施。 ○SNS等による問題発生は減少傾向。

【自己評価及び課題等】

○引き続き、SNS関連の指導を強化したい。教員・生徒・保護者の共通認識のもと継続して啓発指導をする。

重点目標	主な結果
<p>2. 被特別指導の再発をなくす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別指導後も教員が声かけ指導を実施する。 ○カウンセラーによる面談を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別指導対象生徒は減少傾向。

【自己評価及び課題等】

○問題行動者に対する指導方法・内容は的確である。

進路指導

重点目標	主な結果
<p>1. キャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年次よりLTを利用して進路学習を実施。 ○2年次では、インターンシップを実施。 ○3年次4月に上級学校見学（3校 171名参加）・企業見学（6社 326名参加）を実施。 <p>2. 生徒の資質向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力（実力・課題）テストを実施。 ○面接指導を学年・渉外・進路主任を中心に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション合宿の中で触れ、LTでは後期実施予定。意識はできた様子で資格取得にもその効果が見られる。 ○59社158名が実施した。就職に対する意識は高まってきている。 ○早くから取り組んだ結果、7月の三者面談では目標が設定され、保護者との詳細な情報交換ができた。 ○1・2年：3回実施。 3年：2回実施。 ○授業後、全体・個人の指導を増やし、場数を多くして経験値を高めた。

【自己評価及び課題等】

- インターンシップ（就労体験）の積極的参加の指導を図る。
- 学年でさらに学習補習・面接指導を増やし経験を重ねることが必要である。

重点目標	主な結果
<p>3. 進路の決定</p> <p>(就職)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校紹介1次内定率の向上 ○学校紹介全員の内定 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路希望状況 就職 286名 (57.9%) 進学 208名 (42.1%) ○1次内定率 90.9% H30 (88.8%) ○全体内定率 100% H30 (100%)

重点目標	主な結果
(進学) ○オープンキャンパス・学校説明会に積極的に参加させる。 ○工業系大学合格者の増加。	○愛産大オープンキャンパス 75名参加 ○四年制 29名、短期 7名 H30 (合計 43名)

【自己評価及び課題等】

- 1次内定率の向上に向け、学力の養成が必要である。
- 個人差があるが、夏季休暇を有効利用し、数多く参加させ、選択肢を増やした。今後も主体的な受験校の情報収集を促す。

生徒会

重点目標	主な結果
1. 生徒会活動・各委員会活動の連携と活性化 ○生徒会顧問の指導により委員会活動も活性化し、意識を高めると共に委員会通信の発行で活動内容を明確にする。 ○部活動の活性化	○月1回委員会を実施し、その内容を各委員会の呼びかけやST等での担任指導により活動内容が生徒に伝わっている。 ○全国高校総体に2部出場。 全国選抜大会に2部出場。 その他全国大会に1部出場。

【自己評価及び課題等】

- 委員会通信の発行で活動内容をさらに明確にする必要がある。

重点目標	主な結果
2. 地域に貢献できる活動への積極的参加。 ○ボランティア活動参加の呼びかけおよび活動実績の掲示。 ○ゼロの日の通学路清掃活動の実施。 ○橘座公演の実施。 ○第55回文化祭実施。	○夏期ボランティア活動に 223名が参加した。 ○部活動生徒を中心にクリーン運動が展開された。 ○春1回、秋1回実施。 ○伊勢山・橘両校舎にて実施。

【自己評価及び課題等】

- 地域に愛される学校づくりの一環として地道に活動を展開する。
- 地域に定着した行事として今後も地域とともに実施したい。

※全国大会出場部

- ・全国高等学校総合体育大会 空手道部・陸上ホッケー部
- ・全国高等学校選抜大会 空手道部・自転車部…新型コロナ感染の影響により中止
- ・全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会…新型コロナ感染の影響により中止

※令和元年度第 18 回高校生ものづくりコンテスト

東海大会（電気工事部門）優勝

「第 19 回ものづくりコンテスト全国大会（電気工事部門）」優勝

11/16・17 尼崎工業高校にて開催

校務

重点目標	主な結果
<p>1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内設備による怪我ゼロを目標に施設、設備の定期点検の他、日頃からの見回りを実施して事故を未然に防ぐ。また、生徒に対し、危険因子を説明し、器物破損・事故防止の意識を高める。 ○技術の発達に対応し、魅力ある学校として必要な教材用の機械・機器の更新を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内設備による怪我はゼロである。さらに安全指導を徹底し、不安全状態、不安全行動のゼロを目指す。 ○設計製図用機器（ドラフター）40 台、レーザー加工機 2 台導入。コンピュータ 25 台、4 尺汎用旋盤 3 台

【自己評価及び課題等】

- 継続して安全点検を実行して安全状態を維持し、危険箇所の撲滅に努める。

重点目標	主な結果
<p>2. 危機管理。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練を計画・実施し、教員・生徒の意識を高める。また、不審者侵入の対応を検討し未然防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○9/2 あいちシェイクアウトに参加。1 学期には不審者情報対応訓練・岩塚グラウンドの風水害対策訓練を実施。

【自己評価及び課題等】

- 教員・生徒への具体的な防災設備の取り扱い訓練が必要である。

重点目標	主な結果
3. 学校環境衛生。 ○校舎内外の清掃の徹底。 ○ゴミの分別徹底。減量化。	○夏休み期間業者による大規模な清掃を実施。今後は維持・管理を強化する。 ○毎日ゴミ回収に教員が立会い指導。分別の意識は高まっているが、減量化には及んでいない。継続指導する。

【自己評価及び課題等】

○日々の積み重ねが結果に繋がる事を意識させる方法を検討する。

重点目標	主な結果
4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加。 ○保護者役員会を年5回実施。 ○全保護者に学校行事等の案内をし、参加して頂く。	○生徒の現況について把握して頂くとともに教員との距離が近づき本校の活動に理解と協力の体制ができている。2月に実施の保護者会研修会は好評であった。

【自己評価及び課題等】

○保護者との信頼関係が確立されており、教育活動の理解と協力の体制ができている。今後も生徒のために、保護者会活動を継続して実施したい。

総務・渉外

重点目標	主な結果
1. ホームページまたは印刷物による情報の提供。 ○ブログの更新。 ○印刷発行物の内容の充実。	○161件、ブログにて学校情報配信。

【自己評価及び課題等】

○いち早く情報を提供できるよう担当者を増やすなどの工夫が必要。

重点目標	主な結果
2. 令和2年度入学生の確保 ○各中学校との信頼関係を構築し、中学校訪問・進路（進学）説明会・見学説明会など生徒募集活動を計画的に実施する。	○体験入学・体験入部参加者 442名 H30(423名) ○見学説明会3回実施。 (11/16 午前,11/30 午前午後)

【自己評価及び課題等】

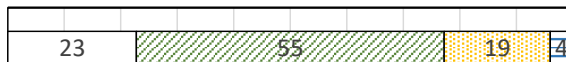
○計画的に生徒募集活動はすすめられている。

令和元年度 3年保護者学校評価アンケート結果

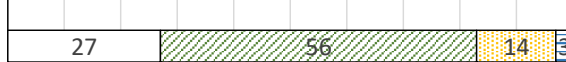
□ 十分 ▨ ほぼ十分 ▩ やや不十分 □ 不十分

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

学校は教育目標や教育方針を生徒・保護者に十分説明している。



学校は生徒に高校生としての自覚を持たせ、特色ある教育活動を行っている。



学校の雰囲気が高く、生徒は、充実した学校生活を送っている。



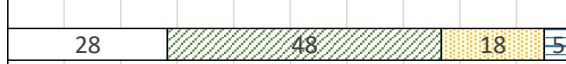
学校は生徒が達成感を味わえるよう、実態に応じて丁寧でわかりやすい授業を行っている。



授業は生徒の進路を達成するために十分な内容である。



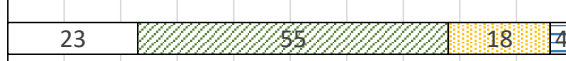
学校は生徒に資格取得の機会を提供し、取得することによって自信を持たせ、学習意欲を高めている。



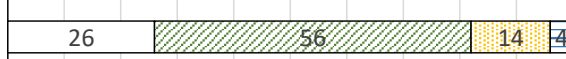
学校は挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。



学校は教員やカウンセラーが必要な時に相談に親身になって対応する体制ができています。



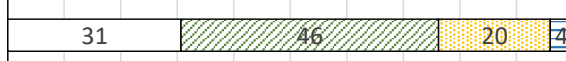
学校は生徒の健康や安全についての教育を十分行っている。



学校は生徒の進路目標の明確化に向けた適切な情報を提供している。



学校は生徒の進路実現に向けて、きめ細かい指導を行っている。



学校は体育祭などの学校行事で、生徒が積極的に参加できるように工夫している。



学校はボランティア活動や美化活動を通して地域社会への貢献を促し、奉仕の精神を学ぶよう指導している。



学校は部活動や生徒会活動に積極的に取り組むよう指導し、またその環境を整えている。



学校は地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。



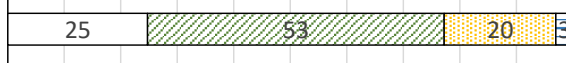
学校は美化活動がよくなされている。



学校はホームページや学年通信などによって、学校の情報は適切に伝えられている。



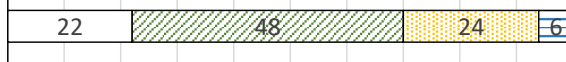
学校は日頃からいじめの早期発見・対応に取り組んでいる。



学校の施設・設備等の教育環境は、充実している。



学校は災害などの対応について、生徒・保護者に周知し、対応訓練を実施している。



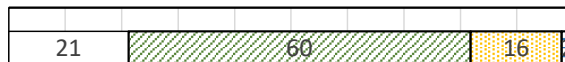
◎回答率 393 / 494 = 79.6 [%]

令和元年度 保護者学校評価アンケート結果

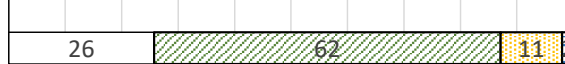
□ 十分 □ ほぼ十分 □ やや不十分 □ 不十分

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

学校は教育目標や教育方針を生徒・保護者に十分説明している。



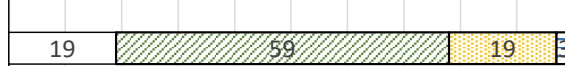
学校は生徒に高校生としての自覚を持たせ、特色ある教育活動を行っている。



学校の雰囲気が高く、生徒は、充実した学校生活を送っている。



学校は生徒が達成感を味わえるよう、実態に応じて丁寧でわかりやすい授業を行っている。



授業は生徒の進路を達成するために十分な内容である。



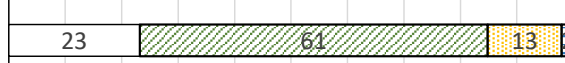
学校は生徒に資格取得の機会を提供し、取得することによって自信を持たせ、学習意欲を高めている。



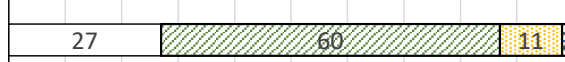
学校は挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。



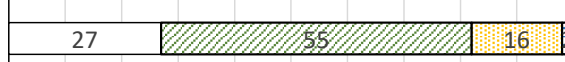
学校は教員やカウンセラーが必要な時に相談に親身になって対応する体制ができています。



学校は生徒の健康や安全についての教育を十分行っている。



学校は生徒の進路目標の明確化に向けた適切な情報を提供している。



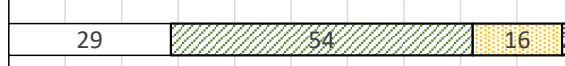
学校は生徒の進路実現に向けて、きめ細かい指導を行っている。



学校は体育祭などの学校行事で、生徒が積極的に参加できるように工夫している。



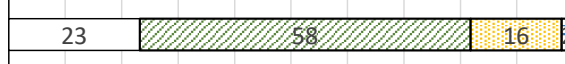
学校はボランティア活動や美化活動を通して地域社会への貢献を促し、奉仕の精神を学ぶよう指導している。



学校は部活動や生徒会活動に積極的に取り組むよう指導し、またその環境を整えている。



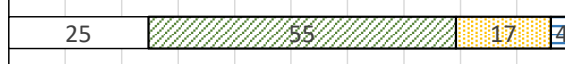
学校は地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。



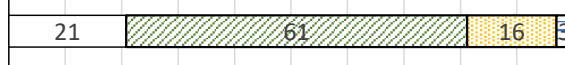
学校は美化活動がよくなされている。



学校はホームページや学年通信などによって、学校の情報は適切に伝えられている。



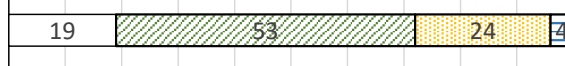
学校は日頃からいじめの早期発見・対応に取り組んでいる。



学校の施設・設備等の教育環境は、充実している。



学校は災害などの対応について、生徒・保護者に周知し、対応訓練を実施している。



◎回答率 1,001 / 1,198 = 83.6 [%]